

医薬品の外観に着目した類似性を回避する為の
情報提供のあり方に関する研究

昭和大学病院薬剤部長

村山純一郎

医薬品の外観に着目した類似性を回避する
ための情報提供のあり方に関する研究

昭和大学病院薬剤部

村山純一郎

(日本病院薬剤師会 リスクマネジメント対策委員会 委員)

収集されたインシデント 重要事例情報

(平成15年8月27日～11月25日)

与薬（内服・外用）	208（13.4%）
与薬（点滴・注射）	165（10.6%）
調剤・与薬準備関連	76（4.9%）
チューブ・カテーテル類関連	202（13.0%）
転倒・転落	163（10.5%）
総情報件数	1644件
薬品による事例	28.9%

薬品使用のケア・プロセス

1. 処方（内用・外用薬）

医師	診断・処方せん交付
看護師	与薬・与薬介助
薬剤師	調剤・薬剤交付

2. 指示（注射薬）

医師	診断・指示・指示せん
看護師	取り揃え・混合・施用
薬剤師	医薬品の供給

医療機関における 各医療職の「医薬品の適正使用」

医師：治療における適正使用

的確な診断に基づく適性な薬物，使用分量・使用期間（処方）

薬剤師：使用における適正使用

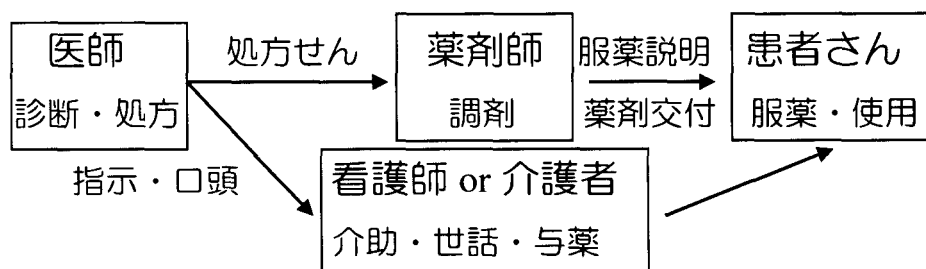
既往歴・アレルギーや常用薬の有無など患者情報に基づく処方，剤形の確認後の薬剤交付と服薬説明

看護師：施用における適正使用

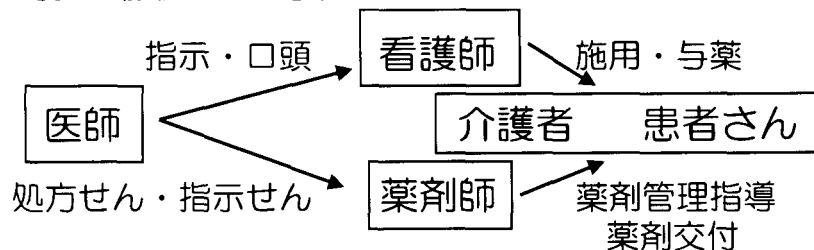
治療に使用される薬品の施用量の正確な分取と施用方法（点滴，静脈注射など），施用する複数注射薬液の調合

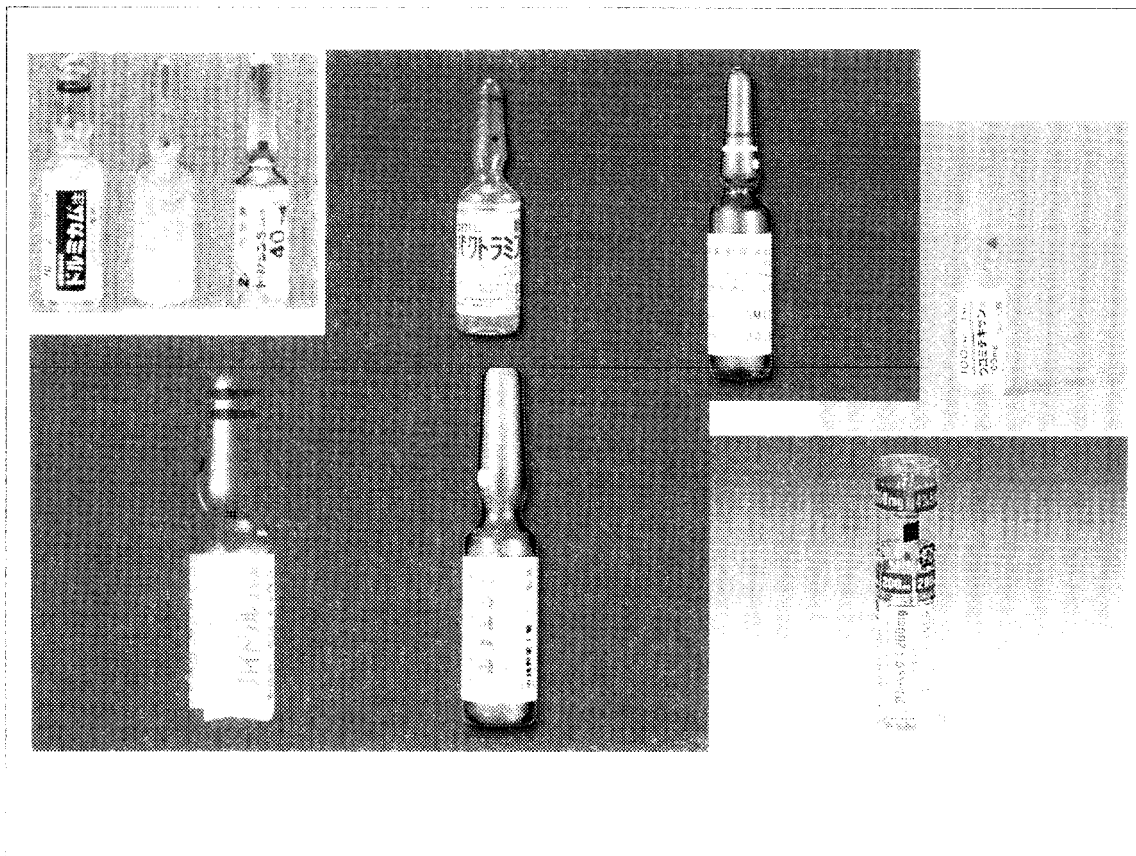
医薬品使用のプロセス

1. 内用，外用，自己注射薬



2. 注射・輸液・処置薬





注射薬，輸液・補液，点眼薬 外用薬表示の研究の重要性

1. 医薬品のラベルに記載する名称，規格，容量，注意事項のフォント決定の根拠は？
2. 注射アンプル，バイアルの表示面積に対する薬事法で決められた記載事項の文字の大きさ，色彩，見やすいフォント決定の根拠は？
3. 注射アンプルに印刷されたワンポイント・カットマークの色彩と大きさ，そして，医薬品名称の位置決定の根拠は？